

2020年12月20日(日)  
SUPER FORMULA 第7戦 予選/決勝  
富士スピードウェイ

予選結果

#64 : 15位  
#65 : 7位

決勝結果

#64 : 13位  
#65 : 2位

概要

- ・ Aグループ出走の65号車大湯は2番手タイムでQ1突破
- ・ Bグループ出走の牧野の代役出場の大津はQ1で惜しくもノックアウト
- ・ 大湯はQ3まで駒を進めて7番手
  
- ・ 15番グリッドからスタートした大津は11周目にピットイン、しっかりと安定したラップを重ね13位フィニッシュ
- ・ 7番スタートの大湯は10周目にピットインを行なったあと着々とポジションを上げ2位表彰台獲得
- ・ 大湯はルーキー・オブ・ザ・イヤーを獲得

## コメント

総監督：中嶋 悟

「2人ともよく頑張ったと思います。大湯はいいレースをしましてし、ピンチヒッターの大津も頑張ってくれました。今年得たものはしっかりと引継ぎ、来年に向けて順調にスタートを切れるようにこれから準備をしていきます。大変な1年でしたが無事に終わることができ、関係者のみなさま、ファンみなさまに本当に感謝しています。来シーズンもよろしくお願いいたします」

#64：大津 弘樹

「今回、牧野選手の代役という形でスーパーフォーミュラを戦うことになりました。彼の体調が心配なところは当然ありますが、急遽代役として参戦させてくれたチームに感謝しています。急ピッチに決まったことですが、同じGT500クラスで戦うドライバーも多い中で、自分の力がどれくらいなのかを試したいという気持ちがありました。ただし、スーパーフォーミュラは非常にハイレベルなレースで、予選前に2時間ほどの走行しかないなかでそう簡単に合わせこむことはできず、壁の高さを感じました。自分の力を100%出し切れたかという、もう少しいろいろとできたことはあるのではないかと思、レース直後の今はいろんな感情が込み上げてきます。ただ一言でいえば、とても素晴らしい経験ができました。SUPER GTだけでは感じ取れない経験をさせてもらったので、これは今後生きてくると思いますし、活かさなければと思います」

#65：大湯 都史樹

「野尻選手とのバトルでオーバーテイクシステムを使い切ってしまったことが少し悔やまれます。まだ少し残っていれば、終盤の坪井選手とのバトルでももっと戦えたと思います。松下選手を抜いた段階でオーバーテイクシステムは終わってしまったので、それは残念でしたが、自分の力をきっちり出して松下選手を抜くことができたのは良かったです。2位という結果に対し悔しい気持ちはもちろんありますが、自分の全力を出し切れたと思えるレースをすることが重要だったので、それはしっかりできまし

た。精神的にも落ち着いて戦えて、7番手からのスタートで、混戦の中でしっかりと生き残り、順位を上げてこられて良かったです」

※1年間たくさんのご声援をありがとうございました。